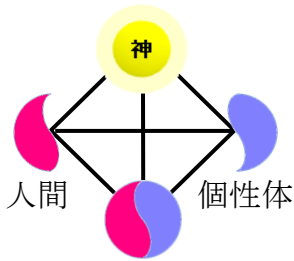


I. 創造本然の価値について

個性体の創造本然の価値は、それ自体内に絶対的なものとして内在しているのではない

⇒ある対象が創造本然の価値をもつためには...

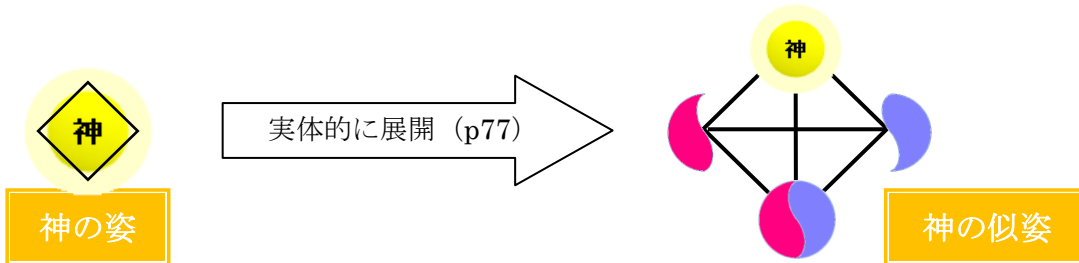


人間と 授受作用によって合性一体化することで

神の第三対象となり、創造本然の四位基台をなすべき

◎創造本然の価値の基準は...四位基台の中心=絶対者・神

神に対して相対的に決定された万物の創造本然の価値も絶対的



II. 神の愛

四位基台の三対象の愛において、その主体的な愛



III. 善とは

主体と対象 ⇒ 愛と美をよく授けよく受ける ⇒ 合性一体化

⇔ 神の第三対象 ⇔ 四位基台造成

神の創造目的を成就する行為やその行為の結果を善という

IV. 義なる生活

義 : 善の目的を成就していく過程において、その善のための生活的な要素

∴ 善の目的成就 : 必然的に義の生活を要するようになる
(義が善の目的を追求する理由)